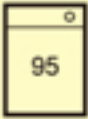

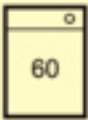

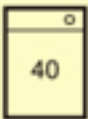

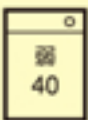

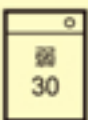





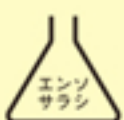








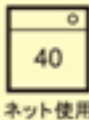



取り扱い絵表示の記号と意味

記号	記号の意味	記号	記号の意味
	液温は、95°Cを限度とし、洗濯ができる。		ドライクリーニングができる。溶剤は、パークロロエチレン又は石油系のものを使用する。
	液温は、60°Cを限度とし洗濯機による洗濯ができる。		ドライクリーニングができる。溶剤は、石油系のものを使用する。
	液温は、40°Cを限度とし、洗濯機による洗濯ができる。		ドライクリーニングはできない。
	液温は、40°Cを限度とし、洗濯機の弱水流又は弱い手洗いがよい。		アイロンは210°Cを限度とし、高い温度（180～210°Cまで）で掛けるのがよい。
	液温は、30°Cを限度とし、洗濯機の弱水流又は弱い手洗いがよい。		アイロンは160°Cを限度とし、中程度の温度（140～160°Cまで）で掛けるのがよい。
	液温は、30°Cを限度とし、弱い手洗いがよい。 (洗濯機は使用できない)		アイロンは120°Cを限度とし、低い温度（80～120°Cまで）で掛けるのがよい。
	水洗いはできない。		アイロン掛けはできない。
	塩素系漂白剤による漂白ができる。		つり干しがよい。
	塩素系漂白剤による漂白はできない。		日陰のつり干しがよい。
	手絞りの場合は弱く、遠心脱水の場合は、短時間で絞るのがよい。		平干しがよい。
	絞ってはいけない。		日陰の平干しがよい。

付記例

	中性洗剤を使用してください		洗濯ネットを使用してください		あて布をしてください（ウールやギャバジンなどの場合）
--	---------------	---	----------------	---	----------------------------